

近衛文麿

KONOE Fumimaro
1891-1945



藤原摂関家嫡流の近衛公爵家の長男として生まれ、昭和戦前期に内閣総理大臣を三度務めました。日米開戦後は、戦争の早期終結に奔走しますが、終戦後にGHQより逮捕令が発せられ、出頭期日の昭和20(1945)年12月16日早朝に萩外荘の書斎で自決しました。

伊東忠太

ITO Chuta
1867-1954



築地本願寺の設計などで知られる日本を代表する建築家・建築史家です。東京帝国大学を卒業後、辰野金吾のもとで法隆寺の建築を調査し、その様式がギリシャ建築に通ずると論じました。昭和18(1943)年、建築学の分野で初の文化勲章を授与されています。

入澤達吉

IRISAWA Tatsukichi
1865-1938



東京帝国大学出身の医学者で、東京帝国大学医学部教授や医学部長などの要職を歴任しました。大正天皇の診療にもあたり、大正13(1924)年からは侍医頭も務めました。楓萩荘を近衛に譲った後は、西側の隣地に移り住みました。

開園時間 午前9時から午後5時まで(最終入園午後4時半)
休園日 水曜日・年末年始(12月29日から1月1日)

*水曜日が祝日の場合、翌平日が休園日
*休園日は変更になることがありますので、最新の情報はホームページ等でご確認ください

カフェ・ショップ

営業時間 午前10時から午後4時30分まで
(午後4時ラストオーダー)

*休業日は萩外荘に準じる

観覧料

観覧券 一般: 300円 小・中学生: 150円
年間観覧券 一般: 1,200円 小・中学生: 600円
団体(20名以上) 一般: 250円 小・中学生: 100円

*障害者手帳、デジタル障害者手帳ミライロID等をお持ちの方は、本人と介護者1名は入園無料
*団体での来園の際は、館内ガイドご希望の場合は1か月前までに、見学の場合は1週間前までにご相談ください



・JR中央線、東京メトロ丸ノ内線 萩窪駅南口 徒歩15分
・関東バス 萩窪駅南口のりば1 萩51 シャレール萩窪行き
「特養ホームおきくぼ紫苑」下車 徒歩5分
・グリーンスローモビリティ 萩窪駅西口～萩外荘公園 乗車6分、下車すぐ
・駐車場はございません

国指定史跡

萩外荘 近衛文麿旧宅

〒167-0051 東京都杉並区萩窪2-43-36 萩外荘公園内
Tel. 03-6383-5711 Fax. 03-6383-5713
運営 萩窪三庭園指定管理者 株式会社虎玄



国指定史跡

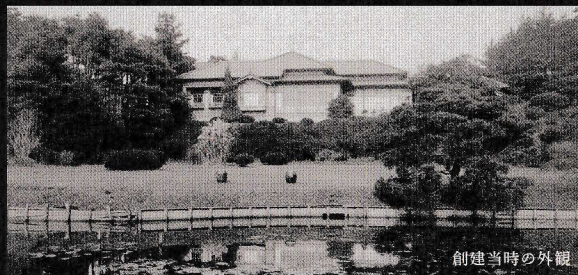
萩外荘

TEKIGAIISO

「近衛文麿旧宅」



近衛文麿の旧宅「萩外荘」



創建当時の外観

萩外荘は、東京帝国大学医学部教授にして大正天皇の侍医頭も務めた医学者・入澤達吉の別邸「楓萩荘」として、入澤の義弟であった建築家・伊東忠太の設計により、昭和2(1927)年に建てられました。政治家・近衛文麿に譲渡されたのは昭和12(1937)年のことでした。「萩外荘」の名は、近衛の後見人であった元老の西園寺公望が命名したものです。昭和戦前期の政治の転換点となる重要な会談が数多く行われた場所として、平成28(2016)年3月に国の史跡に指定されました。

萩外荘の歴史

1927 昭和02年	12月	入澤達吉の萩窪別邸として創建
1937 昭和12年	6月 11月	第一次近衛内閣成立(1939年1月総辞職) 近衛文麿に譲渡される
1940 昭和15年	7月	萩窪会談が行われる 第二次近衛内閣成立(1941年7月総辞職)
1941 昭和16年	7月 10月 12月	第三次近衛内閣成立(1941年10月総辞職) 萩外荘会談が行われる 太平洋戦争開戦
1945 昭和20年	8月 12月	終戦 近衛文麿が萩外荘書斎で自決
1947 昭和22年		吉田茂が仮住まいとする(～1948年)



別棟

昭和13(1938)年に、近衛文麿の長男である文隆の名義で増築されました。



蔵

近衛文麿の居住期に使用されていた生活用具をはじめ、漆芸・金工品、書画などが保存されていました。



来客用手洗

[展示のみ]

同時代の洋式トイレを参考に復元したものです。



応接室

中国風の意匠でまとめられた部屋で、床には龍の敷瓦があり、天井には龍が描かれた4枚の天井画が貼られています。

[別棟]

● 広縁・廊下からのみ見学可能

- ① ARで見る萩窪会談
- ② VRで見る近衛時代の庭園
- ③ ガイダンス映像

構造：木造平屋 一部二階建
床面積：541.22㎡
史跡面積：6,071.69㎡



書斎

昭和20(1945)年12月16日早朝、近衛はこの部屋で自決しました。その後も改変されることなく、自決時の姿を今にとどめています。



食堂

この邸宅を建てた入澤達吉は、主に来客用の食堂として使用しました。



客間

第二次近衛内閣組閣時の昭和15(1940)年7月19日に、「萩窪会談」が行われた部屋です。



玄関

玄関内には、西園寺公望の筆跡による「萩外荘」の扁額が掛けられていました。

